

事 業 計 画

I . 基本方針

我が国経済は、2012年12月から始まった景気回復の期間が、戦後最長を達成したと政府は見ているが、米中貿易摩擦が深刻化しており、企業業績は高水準を維持しているものの、中国経済減速の影響が日本経済の業績に波及し始めている。

TPP11や日EU・EPAの発効など、世界経済拡大につながる自由貿易体制の進展といった明るい動きはあるものの、一方では、長期化が予想される米中貿易摩擦に加え、EUからの英国の離脱問題など、先行き不透明な海外情勢とともに、国内においては深刻化する人手不足や賃金上昇、事業承継問題、10月に予定されている消費税増税のリスクなど、中小企業を取り巻く環境には、依然として多くの課題が残されている。

当地域においても、「人材の確保・定着」や「生産性の向上」は喫緊の課題であり、更には、「福山駅前を中心とする中心市街地の再生・活性化」、「幹線道路網や港湾の整備促進」、「産業・流通団地の整備促進」、「福山城築城400年に向けた機運の醸成」、「コンベンション機能の強化・推進」等、福山市が備後の中核都市として持続的発展を遂げていくために欠かせない事項が山積している。

こうした中「中小企業等の活力強化」、「地域の活性化」という二つの使命・役割を担う福山商工会議所においては、今日の社会経済情勢や当地域の状況を踏まえながら、つぎの事項に資する取り組みを平成31年度主要事業として位置付けるものである。

- I 地域活性化の観点や会員事業所との対話を踏まえた政策提言・要望
- II 中小・小規模企業の経営力強化
- III 人手不足への対応と生産性の向上及び働き方改革の推進
- IV 中心市街地の再生・活性化
- V 地域資源を活用した地方創生の促進
- VI 創立90周年記念事業
- VII 議員選挙選任と持続可能な組織運営

これらの取り組みに当たっては、産・学・官の有機的な連携、会員の生の声、相談者の掘り起こし、各部会・委員会の活性化などに留意しながら、当事業計画の着実な推進に努め、「信頼される商工会議所」、「なくてはならない商工会議所」の実現をめざしていく。